

曹関係は早々に諦め、高知県
趣味はバンド活動をしてい
た。徐々に慣れてくることができ
たが、芸西病院での仕事に
のですが、軽音楽部に入部し
た。徐々に勉強しなくなり、法
曹関係は早々に諦め、高知県

たたきますと、生まれはアメリ
カのボストンで、高知県育
ち。高知学芸中学・高校を卒
業後、大阪の大学の法医学部に
入学しました。入学時は法曹
関係の仕事なども考えていました
が、高知学芸中学・高校を卒業後、
大阪の大学の法医学部に入学してい
た。徐々に勉強しなくなり、法

簡単な自己紹介をさせててい
ただきました。廣瀬陽先生の後任として赴任
いたしました、西原利貴と申
します。医師としては4年目
で、精神科医として2年目にな
ります。

皆様はじめまして。202
4年3月まで勤務されていた
京都での1年間の予備校生
活を経て、24歳の時に石川の
大学の医学部に滑り込みで合
格しました。2度目の大学生
活は、想像していたよりも忙
しく、勉強の傍ら再度軽音楽
部に入部しバンド活動をした
り、小中学生の塾講師をした
りしていると、気づいたらあ
つという間に6年間が経過し
ていました。

卒業後は高知大学医学部附
属病院で2年間研修し、もと
も実家が精神科の病院であ
ったことに加え、ローテート
中に経験した精神科診療の奥
深さに惹かれて2023年4
月に高知大学医学部附属神経
精神科教室に入局しました。

たたきますと、生まれはアメ
リカのボストンで、高知県育
ち。高知学芸中学・高校を卒
業後、大阪の大学の法医学部に
入学しました。入学時は法曹
関係の仕事なども考えていました
が、高知学芸中学・高校を卒業後、
大阪の大学の法医学部に入学してい
た。徐々に勉強しなくなり、法

曹関係は早々に諦め、高知県
趣味はバンド活動をしてい
た。徐々に慣れてくることができ
たが、芸西病院での仕事に
のですが、軽音楽部に入部し
た。徐々に勉強しなくなり、法
曹関係は早々に諦め、高知県

たたきますと、生まれはアメ
リカのボストンで、高知県育
ち。高知学芸中学・高校を卒
業後、大阪の大学の法医学部に
入学しました。入学時は法曹
関係の仕事なども考えていました
が、高知学芸中学・高校を卒業後、
大阪の大学の法医学部に入学してい
た。徐々に勉強しなくなり、法



外来診察担当医

令和6年7月1日

内 科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
山 崎 (第1・3)	岩 崎	山 崎	八 木	清 藤 (第1・3)	山 崎	八 木	八 木	山 崎	山 崎	山 崎	麻 生	休 診
八 木 (第2・4・5)			八 木 (第2・4・5)									
精神科	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	赤 川	赤 尾		大 畑		藤 戸 良 輔	赤 川	西 原		龟	交 代 制	休 診



発行所
安芸郡芸西村
芸西病院
TEL 0887(33)3833

発行責任者
山崎一明
<http://okura-kai.com/geisei/>



精神科医師
西 原 利 貴



藤戸せつ前理事長の旅立ち

医療法人おくら会 芸西病院 事務局長

田岡大史



いたそうです。そこで、自分が成人するまで育った芸西村の豊かな自然環境のなかで、「患者さんにゆつたりとした療養をしてもらいたい」。「患者さんに思いつきり叫ばせてあげたい」という想いで、当院をつくろうと思つたのだと仰つていたことを思い出します。

当院創設者であり、医療法人おくら会の創設者である、藤戸せつ先生が去る令和6年4月18日に逝去されました。享年102歳。満100歳でお旅立ちでした。

4月23日の通夜、そして4月24日の法人葬におきましては多くの皆様にご会葬いただき、またご供花や電報など、心温まるお心遣いを賜りましたことを職員一同から心より御礼申し上げます。



白百合とともに

医療法人おくら会として合併される前の、医療法人みづき会芸西病院は、1978年7月24日に芸西村和食高山の地に設立されました。せつ先生は、1960年から高知市で開業していましたが、治療を続けていくなかで、患者さんの声がひびいたりすることに、何度も苦情をいただ

れていたので、安全を考え、現理事長と私でせつ先生に運転免許証の返納についてご相談したことがあります。しかし「私の生きがいを取り上げるのかね?」と涙ぐむお姿にそれ以上は言えず、すこしごと退散したことでしたが、その後で「若造2人が来てたけど、蹴散らしてあげましたわ」と、まるでいたずらっ子のように仰つていただいたようです。

そんな可愛らしい側面もありましたが、本当に心から医療のことを、患者さんのことを考えてきたせつ先生でした。その強い想いで私たちを引っ張ってきてくださったことに感謝し、今後はその想いを私たちが紡いでいこうと思います。



2017年1月(187号)
理事長としての最後の直筆原稿(93歳)

記念誌より

せつ先生、お安らかに。

(医療法人みづき会創立30周年



芸西病院 納涼祭

「心身の健康に大切なものは、空の色、土の匂い、海の風、山の緑、野鳥の鳴き声、自然の営み、のびやかな時の流れ、といった田舎の生活であると云われています。芸西村の自然環境を守り、芸西病院が癒しの場として、長く地域の方々の健康へ支えとして役割を担っていくべきことを自覚しております。」

新人研修を行いました

新しい仲間を迎える、4/4(木)～4/6(土)に新人研修を行いました。同期として一堂に会して共に学び、多職種でのグループワークを行う中でそれぞれの存在や役割を確認し、自らのこれから業務につなげていく研修となりました。ここでは新人職員、そして講師それぞれの感想をご紹介いたします。

①リハビリテーション部 言語聴覚士 小松 諭奈

この度は、私たち新人のために長時間にわたる新人研修会を開催してくださり、ありがとうございました。私は今年3月に学校を卒業し、4月から言語聴覚士また新社会人として、芸西病院でお世話になることになりました。研修前は、不安も多くこれから自分が勤務する病院はどのような所だろうかと思っておりましたが、研修に参加し、講師の方々のお話を聞くことができ、大変安心しました。また、研修の中で多職種の連携が不可欠なことを実感いたしました。

そして、研修のプログラムにグループワークの時間があり、他職種の方々と意見を交換することができ、大変勉強になりました。グループで意見交換することで自分一人では考えつかないことを知ることができるということを学びました。これから働く中でも情報を共有することを大切にしていこうと思いました。

今回の研修を終えて、芸西病院の一員として患者様、ご家族様、他職種の皆様から信頼していただけるように日々精進していきたいと思います。



②看護部 2B看護師 松吉 慎一郎

私は新人研修を通して、地域医療の施設間連携にとって、職員の相互理解がいかに重要かを再認識することができました。

今回の研修で印象的だったグループワークは、私にとって入職後初めて行う多職種でのコミュニケーションの機会でした。地域医療という分野は介護老人保健施設や訪問看護ステーションをはじめとした多施設で共働することが前提の分野です。しかし初対面で意見を挙げることに苦手意識のある私は、ここはそれを克服する練習の場だと思い臨みました。そして、いざグループワークで意見を交えてみると、言葉を重ねるにつれて同期職員の人となりが明瞭になっていくように感じ、安心して活発な意見交換を行うことができました。

昨今のコロナ禍による混乱が落ち着きを見せ、医療施設と周辺地域との往来が活性を取り戻し始めた今、ケアの対象者との距離を縮めるだけでなく、職員同士の信頼関係の構築も円滑な地域医療の展開にとって重要なと考えています。今回の新人研修はそのことを改めて実感できた貴重な時間となりました。



③3B看護師長 野崎 晶子

医療法人みづき会の頃より行っている新人研修が今年も無事に開催できたことを嬉しく思います。私が新人研修を受けたのは随分前ですが、様々な部署の所属長の説明からその部署の特徴や役割を知るきっかけになったことを懐かしく思い出します。

この度は、師長として初めて3B病棟(閉鎖病棟)について紹介する機会を頂きました。代々の師長より受け継がれてきた教えや資料などを参考に話をいたしました。精神科を標榜する病院であること、そこでは何に気をつけてケアにあたっているか、大事な大切な事を心を込めて伝えようと意識しました。病状などは分かりやすく具体的に話したつもりです。慎重にケアを行っていく必要もありますが、患者さんと一緒に看護していくと学びも多いです。重々しいイメージもあるかと思いますが、少しでも精神科看護に興味を持って頂きたいと思いながらの説明を新人の皆さんにはしっかりと傾きながら聞いて下さり、緊張しているなかでも少しほっとしたことでした。これから、共に頑張っていきましょう。





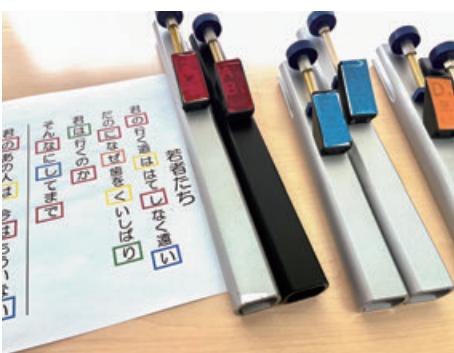
安芸市社会福祉協議会からお声がけいただき、去る3月22日、「第16期安芸シルバー短期大学」へ講義に行つてきました。参加者は、60歳以上の安芸市内在住の「安芸シルバー短期大学」へ入学された学生さんです。こちらでは、時事問題や地域生活に関する講義、笑いや音楽を取り入れた講義、小学生との交流会など様々な授業が毎月開講されていますが、そのなかで私は「音楽でこころも身体も元気になろう」と銘打つて講義をしてきました。

市内在住の「安芸シルバー短期大学」へ入学された学生さんはなんと30名近く! せっかくですので、当日の雰囲気を少しだけ紹介します。

まずは【鑑賞活動】。アイスブレイクも兼ねて、得意なクラシックから演歌、朝ドラドレー形式で私のピアノ演奏を聴いていただきました。「東京ブギウギ」などをメロディーながら聴いてください」と事前にお伝えすると、皆さん前のめりで聴いて下さり、なじみの演歌は一緒に歌つてくださる場面も見受けられました。そのように自然と歌ったり、身体で思わずリズムを取ったり、あるいはじっくり音楽に浸つたりと様々な楽しみ方ができるのも、音楽が芸術性が高く、かつ柔軟なものであるからだと思います。

また講義場面では、音楽に反応する脳、運動の脳への効果、音楽と運動を組み合わせることによる更なる脳への相乗効果も説明し、普段されている運動に、ワンポイントで講義は、音楽と健康維持の体験型講義でしたが当日の参加者はなんと30名近く! せっかくですので、当日の雰囲気を少しだけ紹介します。

まずは【鑑賞活動】。アイスブレイクも兼ねて、得意なクラシックから演歌、朝ドラドレー形式で私のピアノ演奏を聴いていただきました。「東京ブギウギ」などをメロディーながら聴いてください」と事前にお伝えすると、皆さん前のめりで聴いて下さり、なじみの演歌は一緒に歌つてくださる場面も見受けられました。そのように自然と歌ったり、身体で思わずリズムを取ったり、あるいはじっくり音楽に浸つたりと様々な楽しみ方ができるのも、音楽が芸術性が高く、かつ柔軟なものであるからだと思います。



実際に、音楽を用いた【運動】【歌唱活動】も体験してもらいました。何といつても【演奏活動】が多くの学生の皆さんに気に入っていました。音楽を付け加えてみることを勧めさせていただきました。

音楽は芸術としても柔軟性があり、多くの人に受け入れやすく、また、楽しみながら健康維持の取り組みができる。この沢山のご縁に感謝申し上げます。

音楽療法室 音楽療法士 繁谷 美穂

安芸シルバー短期大学 「音楽でこころも身体も元気になろう!」

**介護福祉士 介護助手 調理師 調理員 精神保健福祉士 社会福祉士
ケアマネージャー 看護師**

業務内容、勤務時間、待遇面等、詳しくはこちらまでご連絡ください

医療法人おくら会 芸西病院 安芸郡芸西村和食甲4268

電話 0887-33-3833

担当: 事務局(田岡 有澤) 栄養科(近藤)



募集中!

やわらぎ通信

「オール高知で人集め・人づくり」

施設長 中本 雅彦

リゾートビルやわらぎ
運営理念
その人らしさを尊重し
人と人とのつながりを大切に
明日につなげるケアをめざす

昨夏に引き続きこの春に参加しました「高知ふくし就職フェア・スプリング」。今回は高知県民体育館にて初開催され、やわらぎは舞台上でのプレゼンテーションへ数年ぶりに参加しました。しかもトップバッターです。登壇したのはいつも元気印の小笠原CWと大野CWの二人、緊張の様子もなくいつも通りの素敵な笑顔でやわらぎの強みを会場の皆さんへ伝えることができました。次なるサマーフェアに向かってブラッシュアップです。

それでも高知県の人口減少はより顕著となりました。人口「自然減」と「社会減」のダブルパンチが30年以上続いた結果であり容易にストップできる」とではありません。当然ながら働く世代人口減少も著しく、私たち医療介護福祉業界もふくしふエア等々、公的機関と共に人材確保イベントに取り組んでいます。高知県内で人の奪い合い?我が事業所の人材確保?ではなく、オール高知で県外・世界から人が集う高知づくりを真剣に考えています。いろいろ公的協議の場がありますが、そろそろ発想・視点を変え、この高知を何とかしていきたい。あらゆる垣根を越えてみんなで共に考えましょう。



つれしいお声がたくさん聴けました。

直接面会ができるようになりました!

直接面会できないときは歯がゆい感じでした。すぐ近くにいるのに触れることができない。マイクを使って話すこともできたけど聞き取りづらかった。様子についてはスタッフの皆さん教えてくれるけど、ガラス越しは近くにいるけど遠かった。でもガラス越しでも会えることがうれしかったし、全身見えるものよかったです。

直接面会が再開になつて触れることができようになつた。声をかけたら反応してくれるのがわかる。「うーん」と言つたり、名前を呼んでくれたり、ガラス越しでは聞きたくなつたことが聞き逃さずに聞こえるようになります。散歩に行つたりもできますし、そういう意思表示が伝わってくるのがいいと思います。面会にくるにあたつては体調に気を付けるようにしています。まだ面会できないところも多い中、面会をできるようにしてもらつてうれしい、ありがとうございます。」



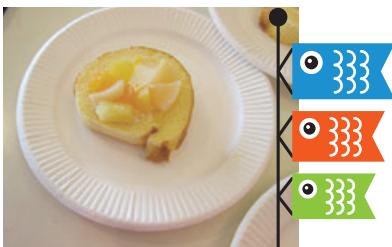
「ガラス越しとは全然違う。こうやって触れ合えるだけで本当にうれしいです」



「前は寒かった。やっぱり手を握って触れ合えるのはうれしいです」



○ 鯉のぼり喫茶



行事

はじめまして

津田 あゆみ
2階療養部 看護師



寺本 弥生
1階療養部 准看護師



川谷 伊織
1階療養部 介護福祉士



仙頭 陽子
栄養科 管理栄養士



おかえりなさい

日美由紀
2階療養部 介護福祉士



山本 彩加
相談室 社会福祉士



釣りクラブ

雨で茶話会に変更♪
会話が弾みました♪



クラブ活動

生花クラブ



硬筆クラブ



園芸クラブ

お花見





第52回オールドパワー展について

通所リハ 介護福祉士 大北 ひろみ



入浴時、次亜塩素酸液使用のためにバスタオルの傷みが早いのですが、廃棄するにはもつたいたくて、これで何かご利用者と作れないかなと考えていました。皆と相談の結果「これを美味しそうなさつま芋にしよう」と決めました。コロナ感染に気を付けながら個人のテーブルでの作業になり、バスタオルをお芋の大きさに切りパンチで穴をあけ、毛糸をプラスチックの針に通して縫つて中にちぎったタオルを入れアクリル絵の具で色を付けました。女性は手早く、裁縫も器用で仕上がりも綺麗でした。針先を上手に動かせるかな…と見守っていた方が、すごく上手な針仕事を見せてくれて職員全員で驚いてしまいました。



折り紙の得意なご利用者には赤とんぼを折つてもらい可愛い目を付け、富士山や家は、ちぎり絵にし好きな色をちぎり貼つてもらいました。稲穂は花紙を濡らし丸めて黄色の紙に貼り付けました。彼岸花の製作には折り紙とモールを使用しましたが、花が大きく重くてワイヤーに付かなく苦労しました。モール作りにはガチャヤポンの黄色カプセルをヘルメットに使用し、モールでメガネを作り可愛いモグラができました。美味しい澤山のお芋にモグラ、赤トントンボ、日本の富士山があり、名前はやわらぎ農園にしました。3月14日のオールドパワー出展では努力賞を頂き、ご利用者に報告すると大変喜ばれています。ご利用者の努力があり良い賞をいただきました。ありがとうございました。

私が夢中になっていることは、愛犬と遊ぶことです。一年前に我が家に来たボメラニアンの田中ゆるです。生後2ヶ月で来たときは小さくころこんでいましたが、ご飯もおやつもモリモリ食べ、大きくなってくれました。実家では外で柴犬を飼つており、室内犬は初めてなので心配でしたが体調不良もなく、ワクチン接種も痛いはずなのに嫌がらず頑張ってくれます。抜け毛の季節は掃除が大変ですが、常に一緒にいられるので幸せです。去年の12月に1歳になり、初めて犬用のケーキをあげたのですが、今までのおやつと比べ物にならないくらいがつついで食べていて、これは1年に1回だけじゃなく半年に1回は食べてもらおうかなと思いました。甘やかしてしまいますが悪いことをしていたら烈火のごとく怒ってしまうので、バランスはとれているのかなと思います…。私の両親にも夫の両親にも可愛がつてもらえて、人が大好きなのでとても嬉しそうにしています。両親に会う機会は少ないので気付けてくれ感謝しかないです。我が家に来たときは真っ白な毛並みでしたがクリーム色になり、部屋が汚いのかなと疑問に思いましたが、成長して毛の色が変わることはあるとのことで、安心しました。定期的にシャンプーをしていますが嫌がり、トリマーさんも「これは慣れるしかないですね~」のことだったのでゆるには引き続き頑張つてもらいます。人と同じように好きな事嫌いな事たくさんありますが、のびのび健康的に育つてほしいなと思います。



無我夢中 45

やわらぎ事務

田中 紗矢佳